

“with コロナ”へのアプローチ——笹塚ボウル



各ボックスを仕切るパーテーションは、コロナ収束後に再利用できるように、ハンガーラックで製作



▲トーナメントからの引退を表明した井口プロだが、現在は笹塚ボウルの事業部長としてコロナへの対応に追われている

「自分たちで状況判断をしながら ときにストップをかける勇気も必要」

緊急事態宣言が解除され、あらゆる業種で経済活動が再開された。しかしながら疑心暗鬼のなか恐る恐るの始動で、コロナ以前の日常風景にはほど遠い。6月末からの感染者数の推移を見ても、ワクチンや治療薬が開発されるまでは、コロナウイルスと共存していかなければならないことを改めて思い知らされた。そんな with コロナの期間、ボウリング場はいかなる経営戦略で乗り切るのか…。笹塚ボウル(東京都渋谷区)の井口直之ボウリング事業部長(プロ・41期)にお話をうかがった。

7段階のステップで 手探りの営業再開

コロナ前は、全国のボウリング場でも屈指の営業成績を挙げている笹塚ボウルだが、新型コロナウイルスという思わぬ敵に、プレーキを踏まざるを得なかった。

「12レーンという狭い空間に、スカッチ戦などを利用しながら大勢のお客さんを入れて、そのまま飲食の方に誘導するというようなスタイルでやってきました。ところがコロナ以降は、三密を作ってしまうその戦略がまったく取れなくなりました」

さらに4月3日からの休業は、約2か月に及んだ。自粛解除となった5月26日に営業を再開したが、それからの約1か月は、7段階のステップを踏んで慎重に進めてきた。

「例えばフェーズ1は、最初の4日間を会員様限定で、10時から18時までの営業とし、とくにシニア会員の皆様に安心していただける環境づくりをテーマに取り組みました。フェーズ2では、営業時間は変えずに一般のお客さんを受け入れ、フェーズ4で営業時間を10時から21時まで延ばし、フェーズ5でボックス4名までのリーグ戦再開など、各フェーズでの様子を見ながらやってきましたが、プロボウラーであるおかげで全国に仲間がいるので、先に営業を再開したところが、どんなお客



▲料理の提供は、1人前ずつの小分けでも対応できるように準備している

様の戻り方をしているかなど、生の声を参考にさせてもらいながら戦略を立てられたのは、本当にありがたかったですね」

現在、金曜・土曜は25時まで営業しているが、オールナイト営業はしばらくはやらないそうだ。またフェーズ7として予定していたトリオリーグの再開は見送った。

「本当は今日(7月1日)からトリオ戦を再開したいと思っていました。ただボックス6人になってしまうので、チーム内のだれかを先投げにしてもらうとかの方法を模索していましたが、時期尚早ということで、1クールはダブルス戦に変更をお願いしました。また縮小メニューで営業していたフードコーナーは、今日から通常メニューに戻しました」

密を避けるため 団体予約は小口から

東京では6月末から連日感染者数が50人超と高止まりしている。感染者ゼロが続いている県も多く、地域によって温度差は大きいですが、少なくとも首都圏では、油断できない状況が続いている。

「国や都が経済を回す方向にアクセルを踏んでいる状況では、自分たちで状況判断をして、ときには自分たちでプレーキを踏まなければならないと思います。トリオリーグの再開を見送ったのも、それが理由のひとつでした」

感染予防についても、日場協がまとめたガイドラインを守ることはもちろん、独自の対策も行っている。

「まずはスタッフが感染しな

いための方策として、休業していた2か月の間に、入社してから事務所に入るまでのルールなど、スタッフ向けの感染予防動画を作り、意識の徹底を図りました。またお客様に対しては、入り口で検温したあとチェックシートに記入していただいています。そこまで把握できていると、お客様の安心感にもつながると思います。ただ悩ましいのは、プレー中のマスク着用の義務化です。これから本格的な夏に向けて、熱中症も怖いのですからね」

同センターの売り上げ構成比は、会員さんが4割、予約が4割、残りの2割が一般のお客さんだったそうだが、その大きな比重を占めていた企業などの団体予約、イベントの予約をどうするかが今後の大きなテーマだ。

「問い合わせは来はじめています。ただ以前のように50~60人を入れてというのは密を作ってしまうので、10人程度の規模のコンペを細かく取っていかないと考えています。料理も従来は大皿で出していたものを、1人前ずつ小分けにして提供するような準備もしています。大口のイベントなどは、PCR検査や抗体検査キットが、もう少し安易で安価なものが出るようになったら考えていいのかもしれない」

ジュニア教室は、1レーンに3人ずつ入れていたのを、1レーン1人にするなど、万全の感染対策をして7月から再開する予定だ。一方でシニア層を対象の健康ボウリング教室は、しばらくは見合わせるそうだ。

感染拡大対策に ご協力をお願いします

該当する項目にチェックをして下さい
*全てに該当するお客様のみのご入場とさせていただきます

- 強い倦怠感や息苦しさがない
- 味覚、嗅覚に異常がない
- 新型コロナウイルス陽性者との濃厚接触がない
- 家族、又は身近な知人に感染の疑いのある方がいない
- プレイ中もマスクを着用します
- 飲食物の持ち込みをしません
- その他スタッフの指示に従います

氏名

TEL

感染拡大防止のご協力及び
当店で感染者が発生した場合に必要な情報提供のため
必ずご記入をお願いします。
ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、他の用途
で使用することはございません。

笹塚ボウル

▲現在の健康状態などを把握するために、
チェックシートに記入してもらっている

感染拡大対策 チェックシート

「高齢者は感染すると重症化率が高いので、私自身が怖がっています。実は全5週のうち3週で止めて待ってもらっているんです。その再開をどうしようか考えているところです」

ボウリング業界に限らないが、コロナ前の日常が戻ってくるには、まだしばらく時間がかかりそうだ。

「お客様に必要としていただながら、1年半は耐える覚悟をしています。その間に、とくにレジャーとしてこられる一般のお客さんに満足して帰ってもらうには、これまでとは違う楽しみ方を提案していく必要もあるのかなと思います」